

2024年10月13日 聖霊降臨後第二十一主日礼拝説教
「あなたの拠り所となるもの」(マルコ10章17～31節)

○マルコ10章17～26節について

「永遠の命を受け継ぐには、何をすればよいでしょうか。」(17節)
十字架へと向かう旅に出ていた救い主イエスの御許に、ある男の人が走り寄って来た。彼は、世の多くの富を持ち、神の戒めも守って、正しい生き方をしていると思い込んでいた。
☞この人は、己の力と願いで〈世のもの〉を勝ち得たゆえに自らの行いにより〈永遠の命〉をも受けられると考えた。

「あなたに欠けているものが一つある。」(21節)

キリストは、朽ちぬ命を求める彼に、あなたの拠り所となるものを捨て去り、「わたしに依り頼みなさい」と招かれた。

「それでは、だれが救われるのだろうか」(26節)

金持ちの男は、築いた富も集めた宝も手放すことができず、キリストに躓き、尽きぬ新たな命へ至る道を塞いでしまう。

今日のみことば：マルコ10章27節

「イエスは彼らを見つめて言われた。『人間にできることではないが、神にはできる。神は何でもできるからだ。』」

わたしたちが、死から救い出されて、とこしえに続く命を受けるか否かは、人の持ち物、行った事柄に依らず、神のみわざが、あなたのうちに起こされるかどうかにかかっている。

☆きょうもキリストは、「あなたが、依り頼むものを脇に追いやり、わたしに縋れ」と憐れみをもって呼びかける。

問：なんのために、みことばのもとへ導かれるのか？

「わたし(キリスト)のためまた福音のために…」(29節)

※すでに赦され、救われている者として、あなたも、命を与えた救い主のため、神の恵みのうちに生かされている。